



## 日立のコイン「タッチ」で コミュニティを楽しもう！

日立市では、4月16日からスマートフォンを利用したコミュニティ通貨アプリ「まちのコイン」がスタートしました。

日立のコインは「タッチ」、地域のちょっとしたお手伝いごとや、ごみ拾いや除草作業などのSDGsにつながる活動に参加するとタッチをもらうことができます。もらったタッチはお金に換えることはできませんが、地域やお店、イベントなどで、特別な体験につかうことができます。

スタートして間もなく感じたのは、タッチに対してとても多くの関心があったということ。交流センターのスタンプラリーは、1,500人を超えるユーザーがチャレンジしています。

日立市コミュニティ推進協議会では、「まちのコイン推進会議」を立ち上げアイデアを出し合うなどしながら、コミュニティならではの特別な体験をたくさん用意しています。まずは、自分たちも楽しむことから。負担にならないよう、ゆるやかなペースで進めています。

まちのコインを通して、コミュニティ活動に参加してみませんか。

まちのコインのダウンロードはこちらから

iPhone



android



ボランティアに参加してくれたら

+500 もらう



地域のイベントにきてくれたら

+50 もらう



人気イベントに優先参加できます

-500 あげる



お花や野菜、文房具などをプレゼント！

-300 あげる

## Instagramでコミュニティ活動やまちのコインに関する情報を発信中！

日立市コミュニティ推進協議会では、Instagramでコミュニティ活動に関する情報を定期的に発信しています。まちのコインの使い方やおすすめ機能など、まちのコインをもっと楽しめるような情報も併せてご紹介していきます。

右のQRコードからアクセスできますので、ぜひご覧いただき、フォローして応援してください。また、フォローしてくれたらタッチもプレゼントしています。



## 令和6年度の主な事業紹介 時代の流れを感じながら進化するコミュニティ

今年度も日立市コミュニティ活動推進行動計画に基づき、様々な事業を展開しています。「コミュニティ活動を中心とした支え合いのまち ひたち」を基本方針とし、持続的なコミュニティを目指していきます。



### まちのコイン推進会議

コミュニティ活動参加のきっかけづくりとなるようなタッチの活用について話し合っています。

コミュニティ間での情報共有や、

現在行っている事業にまちのコインを活用する方法などを検討しています。

### 防災活動推進会議

昨年度に引き続き、各コミュニティの防災専門部のメンバーを中心に、自主防災活動について議論しています。

昨年度は、市から災害の連絡を受けた後の対応などについて話し合いましたが、今年度は、「防災意識の向上」や「自主防災訓練の在り方」などについて検討しています。

### 設立50周年記念事業実行委員会

日立市コミュニティ推進協議会は、来年度(令和7年度)に、設立50周年を迎えます。コミュニティに関わる皆様に感謝の気持ちを込めて、記念事業を企画中です。お楽しみに。

### 安全で安心して暮らせるコミュニティ

学区・地区	会長	交流センターTEL
十王	川井 健一	39-2411
豊浦	大場 進一	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	木下 禎浩	42-1552
滑川	遠藤 一男	22-1654
宮田	岩間 廣道	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	原 孝介	21-5564
中小路	中野三樹男	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	須田 育愼	25-1577
成沢	西 英信	35-5587
油繩子	白土 敏夫	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	八木 廣子	34-0535
河原子	鈴木 東男	33-3746
塙山	西村ミチ江	34-5404
大沼	佐藤 忠良	35-8329
金沢	高村 哲夫	36-3985
水木	対馬 幸悦	52-3225
大みか	鈴木 重文	53-5211
久慈	石川 善憲	52-0165
坂下	大貫 健	52-3155

※お問合せ、ご相談は交流センターへ

## コミュニティプラン策定 自分たちの地域の現状や 課題の気付き

令和3年度からコミュニティ活性化事業の一つとして、コミュニティプラン策定がはじまりました。令和4年度の諏訪、金沢に続き、令和5年度は中小路、油繩子、大久保が策定を終え、現在は日高、滑川、宮田、塙山、大沼、大みか、久慈が策定中です。新型コロナウイルスの5類移行後の変わりつつある地域の現状や課題に対応したコミュニティプラン策定に取り組んでいます。

このコミュニティプランは、平成元年、塙山学区がモデル事業として初のプランを策定、平成3年には金沢学区が策定、以来、順次21のコミュニティが策定してきました。



ワークショップで新しい発見

策定を通して、自分が住んでいる地域の実態を把握することができ、地域住民へのアンケートを通して、地域の人たちの思いやニーズ、実情を知ることができます。アンケートの結果を基にみんなで考察を加えていくことがまちづくりの第一歩になります。

令和6年度、8回目のコミュニティプラン策定に取り組んでいる塙山学区は、5年ごとに見直し、時代に沿ったプランを策定、活動

に活かしてきました。

多くの人の意見を聞くため、今回は策定委員会のほか、現役世代で構成するワーキングチームを立ち上げ、誰でも参加できるワークショップも開催しました。

全世界へのアンケートは紙ペーシのほか、スマホでも回答できるようにQRコードを付け、1世帯一人ではなく多くの人の意見を聞くことにしました。現在、集計中です。今後、このデータに考察を加え、その結果は情報紙「かわら版」で住民へ情報提供し、策定委員会やワーキングチームで、コミュニティアクションプラン「塙山さんさん計画」をまとめていきます。

令和7年4月には新プランを全戸配布、プランに沿った新年度の活動をスタートさせます。

## 大沼学区で子ども会議 小・中学生がまちづくりに提言

令和6年8月6日、大沼学区では、今年度も「子ども会議」を開催しました。子ども会議の主な目的は、学区内の小・中学生に自由な意見を出してもらい今後のコミュニティ活動に活かしていくこと、将来を担う子ども達が地域のボランティア活動に関心を持ってもらうことなどです。

今回は、大沼小5・6年生8名、泉丘中1～3年生6名、河原子中

1～3年生6名、コミュニティ関係者11名、学校関係者3名、総勢34名の出席で開催しました。

会議では活発な意見があり、



子どもの意見や要望を活かす

- ①防犯・交通安全に関する件
  - ②交流センター活用に関する要望について
  - ③体育館の設備に関する要望について
  - ④通学路や公園の雑草・ごみ問題について
  - ⑤各行事のやり方について
- など多岐に渡りました。

子ども達を頼もしく感じた会議であり、今後とも続けて開催して行く予定です。

## 塙山学区の災害時の情報収集 「災害情報協力者」立ち上げ

昨年の9月8日、台風13号による線状降水帯が発生し、日立市内にも大きな被害をもたらしましたが、塙山学区でも内水浸水による被害が発生しました。しかし、当日は体育館に避難した人からの情報のみで、浸水被害状況は入手できませんでした。

この事態の反省から、塙山学区で災害発生の際がある場合、学区内の状況が塙山学区対策本部(塙山交流センター)に届く仕組みを創りたいと考え、自宅周辺の情報を

提供してくれる「災害情報協力者」の仕組みを設けることにしました。今年3月、当会の役員をはじめ局員、地域エリア協力員等に呼びかけたところ約90名が登録しました。

6月15日(土)、「災害情報協力者ネットワーク」発会式を開催、この仕組みの設立の経緯と趣旨、協力者の活動方法、市からの情報収集と塙山学区の初動体制、民生委員を通じた避難行動要支援者への連絡体制などを全員で再確認をしました。

また、市防災対策課に依頼して、

市が作成し全戸配布されている防災マップによる塙山学区の浸水想定エリアについて詳しく解説してもらい、改めて水害対策を考える機会となりました。



多くの人の力で安全を守る

## 増える空き家の苦情

全国どこも空き家が増えていきます。日立市も空き家問題が表面化した平成29年の日立市空家等対策計画に次いで、令和4年度に第2期の日立市空家等対策計画がたてられ、種々の対策が進められています。

今年6月、「あなたの空き家大丈夫ですか?」の資料が各交流センター等に配布されました。空き家の管理や活用、処分などについて分かり易く記されています。空き家の樹木が道路に覆いかぶさる苦情が増えています。お気付きの箇所があったら市に連絡しましょう。

## くさゼロ・フォトコンテスト 2年ぶりに開催します

日立市コミュニティ推進協議会では、市の「ひたち・くさゼロ大作戦」の取組の一環として、「草刈り」に「アート」の要素を掛け合わせた「くさゼロ・フォトコンテスト」を開催します。

この取組は、地域の草刈りやごみ拾いなどの環境美化活動を取り組むとともに、環境美化を含めたコミュニティ活動を広く周知することを目的に、令和4年度に初開催しましたが、令和5年度は、台風13号の影響により、中止を余儀なくされました。

今年度は、待ちに待った2年ぶ

りの開催です。市民投票によるコンテストへとパワーアップして復活します。まちのコインを活用したオンラインによる投票もできますので、たくさんの投票をお待ちしております。



令和4年度最優秀賞作品(成沢学区)

### 「スポGOMI大会 in 日立」 環境にやさしい、美しいまち への一歩

5月25日(土)、市とコミュニティ推進協議会の共催で「スポGOMI大会 in 日立」が開催されました。

3人1組のチームで市役所周辺のごみを拾い、ごみの種類や量に応じたポイントを競い合いました。

多数の応募の中から33チームが参加。各チームお揃いのTシャツや手作りのごみ箱など、工夫をしたオリジナルアイテムを装備していました。「ごみ拾いはスポーツだ!」を合い言葉に競技がスタート、制限時間は60分、ごみの多くありそうな場所を探し歩きました。拾ったごみの総重量は80kgを超えました。参加者には、この日に限ってはごみが宝のように見えたそうです。

結果は、第3位がデュエルマスターズ(1,425.5P)、第2位がヒロチームATM(1,631.5P)、第1位は久慈環境(2,290P)で、断トツの成績でした。

楽しみながら、みんなでまちをきれいにするイベント、今後もこのような環境美化活動を盛り上げていきたいものです。



### 「ひたちシーサイド マラソン2024」



このイベントは、日立市市制施行85周年記念の冠事業として、市では初となるフルマラソン大会です。地域の活性化につながる秋冬最大のスポーツイベントになります。コースも日立市の北から南まで利用し、太平洋を一望できる良いコースとなっています。各コミュニティの協力で安全・安心な大会にしていかななくてはなりません。参加者がまた走りたいと思えるように心を込めてもてなしましょう。

### もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク

お住まいの地域に関わらず、どのコースにも参加できますので、ぜひ、たくさんの方にご参加ください。

学区・地区	開催日
河原子	9 / 28 (土)
久慈	9 / 28 (土)
会瀬	10 / 6 (日)
大久保	10 / 12 (土)
宮田	10 / 12 (土)
成沢	10 / 20 (日)
油縄子	10 / 20 (日)
諏訪	10 / 20 (日)
仲町	10 / 27 (日)
大沼	10 / 27 (日)
水木	11 / 2 (土)
助川	11 / 3 (日)
中小路	11 / 4 (月・祝)
田尻	11 / 10 (日)
中里	11 / 10 (日)
坂下	11 / 13 (水)
金沢	11 / 20 (水)
滑川	11 / 23 (土)
日高	11 / 24 (日)
豊浦	11 / 30 (土)
十王	12 / 7 (土)

### イベント行事の 参加者を増やすアイデア

成沢学区では「成沢ふれあい夏祭り」「成沢地区文化祭」などのイベントに多くの方に来てもらうことを目的にシャトルバスを運行しています。

夏祭りは成沢小学校校庭で開催、また文化祭は成沢交流センターでの開催となり、駐車場の収容台数も限られていることから、イベント参加者には極力徒歩などでの来場をお願いしているところです。

しかし、山側団地の堂平団地、青葉台団地、山の神団地などは徒

歩での来場は難しいため、主催者側で20人乗りのレンタカーを借り、シャトルバスとしてイベント会場と各団地間を運行して集客に努めています。もちろん資格を持っている方が運転をしています。

このような方法をとることではなかなかイベント会場に来たくても来ることができない人たちには感謝をされています。

また、夏祭りでは各グループ有志による模擬店など出店をしていますが、今人気のキッチンカーによる販売も一考の余地がありそうです。



歴代のこみこみは  
こちら